



中谷智司後援会
〒770-8053
徳島市沖浜東 1-64
tel.088-602-0106
《会内資料》 fax.088-602-0107

編集・発行 中谷智司後援会
印刷 民主党徳島参議院総支部

URL: <http://www.nakatanitomoji.com>
E-mail: nakatani-net@dpj-tokushima.jp



中谷智司携帯サイトへ



2月6日 参議院予算委員会より

希望と誇りある国を創る！

○中谷智司
東日本大震災からの復興、福島原発事故の収束、日本経済の再生への野田総理の覚悟と姿勢を聞かせて欲しい。

○野田佳彦 内閣総理大臣
取り組みの強化とスピードアップを図る。被災地の再生を通じて日本を元気にしていきたい。



○中谷智司
人口減少、少子高齢化、低成長の時代を迎え、経済、財政、金融、年金、医療、介護など様々な分野で課題が噴出してきている。この状況の中で、野田総理は、どのような国家を作るのか。

○野田佳彦 内閣総理大臣
この国に生まれてよかったと思える、希望と誇りある国をつくりたい。特に若い人たちは、今日より明日が良くなるという実感を持ったことがなく、常に不安を持っている。それを取り除くことが大事だ。環境・エネルギーや医療・介護の分野では潜在的な需要がたくさんある。内需と外需の両方を取り込むため、経済連携を進め、アジアに光を当て、膨大なインフラ需要を取り込んでいく。

○中谷智司
日本経済を円高など様々な変化に耐えうるよう柔軟に政策を打ち込む必要があるのではないか。

○古川元久 国家戦略担当大臣
円高への対応は守りと攻めの両方が必要である。攻めは、円高を利用した重要な資源の獲得、将来の成長が見込まれる企業のM & Aなどである。

○枝野幸男 経済産業大臣
エネルギーやレアメタルなどの



資源確保に向け、様々なプロジェクトを進めている。さらに、23年度3次補正、24年度予算案における合計1,400億円規模の資金により、権益確保に取り組む。また、海外企業を買収してその技術を取るといったことが十分可能な状況にある。金融支援などで意欲のある日本企業の背中を後押ししたい。

○中谷智司
円高メリットを生かすために、迅速かつ大胆な対応をしていたきたい。デフレ脱却の取り組みはどうか。

○古川元久 国家戦略担当大臣
デフレ脱却に必要な需給ギャップの縮小のために平成23年度第3次補正予算の執行が重要である。実質GDP 1.7%程度の押し上げ効果が見込まれる。第4次補正予算でもエコカー補助金約3,000億円などを盛り込んで



いる。また、新成長戦略、日本再生のための基本戦略の実行が重要である。一方で、日本銀行にも更なる努力を期待したい。

中小企業を元気にする！

○中谷智司
そうした経済政策を関係はもつと訴えるべき。地方の経済を支えているのは中小企業である。厳しい状況の中で一生懸命頑張っており、経営者は、資金繰り、仕事、人材のことで悩んでいる。

資金繰りは、第4次補正予算で7,413億円の予算が盛り込まれた。今までの資金繰り対策への見解と今後の対策を説明して欲しい。また、中小企業の仕事を作る取り組みについて伺いたい。

○枝野幸男 経済産業大臣
リーマン・ショック後、資金



繰り対策として緊急保証、東日本大震災復興緊急保証などを行っている。第4次補正予算では、セーフティネット貸付けや保証など、予算規模で7,400億円余り、事業規模で9兆円余りの予算をお願いしている。仕事をつくるために、新事業の展開や農商工連携の推進、海外販路の開拓、技術開発に対する支援を行っている。公共調達についても、官公需法に基づき、中小企業の国からの受注機会の増大を図るための措置を定め、地方公共団体にも要請している。

○自見庄三郎金融担当大臣

経産省、中小企業庁と連携して、中小企業金融円滑化法をもう一年延長し、出口戦略をしっかりとしたものにした。

○中谷智司

中小企業の販路の開拓を支援することも大切である。特にアジアあるいは海外への販路開拓支援の取り組みはどうか。

○枝野幸男経済産業大臣
海外での展示会出展の支援などを強化したい。海外での資金調達の支援に関する法案も検討中である。また、ジェトロが中小企業支援にさらに力を発揮するように強く指示している。

○中谷智司
中小企業にとっては、人材の確保も課題である。優秀な人材を中小企業に集める取り組みはどうか。

○枝野幸男経済産業大臣
インターシップを通じたマッチングの推進、合同就職説明会の開催、地域で中小企業団体が大学と連携することの支援を行っている。

○中谷智司
起業や創業に対する取り組みはどうか。

○枝野幸男経済産業大臣
日本政策金融公庫による新創業融資制度や信用保証協会による創業関連保証などを実施している。企業の成長に合わせたきめの細かい金融とノウハウを提供しなければならぬ。エンジェル税制も拡充している。

○自見庄三郎金融担当大臣
昨年、JBCとジェトロが組み、アジアへの進出意欲のある中小企業をしっかり応援をする仕組みを構築した。

第一次産業を再生する！



○中谷智司
地方を支えているのは、中小企業と第一次産業である。第4次補正予算では、1,574億円もの予算が食と農林漁業の再生に組まれている。私の地元の徳島は、本当にすばらしい農産物に恵まれ、日本にもすばらしい農産物がたくさんある。農業を産業の中でどのように位置付けているのか。

○鹿野道彦農林水産大臣
日本の再生には、全国の地域社会全体が活力を生み出すことが必要である。雇用の創造という面でも、第一次産業を地域社会



にしっかりと定着をさせることが非常に重要である。そのことを踏まえ、食と農林水産業の再生の基本方針を打ち出し、実施する。具体的には戸別所得補償制度の継続、高齢化や後継者不足対策、六次産業化などを推進していく。新規就農者については、7年間しっかりとサポートするという世界初の施策を展開する。

○中谷智司
農業者といつても、農産物、規模、年齢によって状況が異なる。農水省が取り組んでいる様々な政策をきちんと全国各地の農業者にまで広げる必要がある。

○鹿野道彦農林水産大臣
非常に重要な指摘だ。反省すべき点が多々ある。農業政策について、現場主義を貫くため、一月に地方ブロック会議を開き、全国十か所で説明会を実施した。今後も一層の努力をしていく。

○中谷智司
総理から、日本の農業者のみなさんに、農業の再生への思いを話して欲しい。

○野田佳彦内閣総理大臣
農業は裾野の広い業界で、食料の安定供給という重要な役割を担っている。さらに国土保全、環境保全という多面的な機能も有する。農業は、成長産業として発展する可能性が十分にあり、きちんと再生していきたい。補正予算にも、来年度予算にもしっかりと盛り込んでいる。食と農林漁業の再生は、政府を挙げて取り組む。

○中谷智司
東日本大震災、福島原発事故を乗り越え、人口減少、少子高齢化の中で、行財政改革、社会保障制度改革や経済成長を進めなければならない。日本のために共に頑張りたい。